

三重県交通安全研修センターだより

～三重県交通安全研修センターをご存知ですか？～

幼児から高齢者まですべての方が、日常生活の中に潜んでいる交通に関する様々な危険について学習し、楽しみながら身をもって交通ルールやマナーを学ぶことが出来る施設です。
団体研修も行っています！

ご利用はすべて無料！

- ♪開館時間：午前 9:30～午後 4:30
- ♪休館日：土曜・祝日・年末年始
(12/29～1/3)
- ♪(TEL) 059-224-7721
- ♪(FAX) 059-224-7641
- ♪〒514-8518 津市垂水2566
(三重県運転免許センター4階)
- ♪<http://www.safetyplaza-mie.com>

～ 聞く ・ 見る ・ 体験する ～

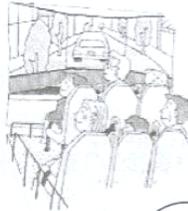
シミュレータ

あなたの反応時間は？
確かな判断できる？



展示ゾーン

どんな危険があるの？
夜間・死角・交差点…



自転車コース

ルール知ってるかな？
自転車も車の仲間だよ



実車体験

いざという時大丈夫？
車は急にとまれない！



実際に聞いて・見て・体験することが大切です！一人でも大丈夫、お気軽にお越し下さい。団体研修はお電話でご予約下さい。お待ちしております！



高齢者の交通事故防止

平成20年度の交通事故死者数は

全国では 5155人（前年比 589人減）

三重県では 110人（前年比 8人減）

でした。

しかし、三重県の交通事故死者数のうち

56人（前年比 1人増・・死者数全体の50.9%）

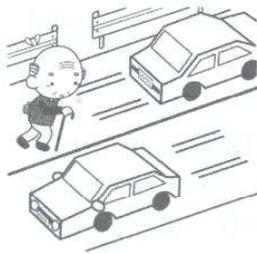
が高齢者（65歳以上）の方でした。

さらに、高齢者で死亡された人の行動別を見ますと

自転車運転中 13人（23.2%）

歩行中 23人（41.1%）

で交通弱者の方が多く被害に遭われました。



高齢者の特性として

- 1、安全確認から行動開始までの時間差が大きい
- 2、特に左方からの車との安全の見極めが非常に甘い
- 3、夜間の危険に対する警戒心が乏しい
- 4、視線が足元に偏り、視野が狭い

などが考えられますが、思い当たりませんか？

事故に遭わないために

見る

通り慣れた道でも油断せず、横断する前は右左をよく見る。

信号のある交差点では、青信号に油断せず右・左折車の動きをよく見る。

待つ

近づいてくる車があれば、それが遠くに見えても、通り過ぎるまで待つ。

止まる

いきなり渡り始めずに、道路の端で必ずストップ。

一時停止の標識があるところでは、必ず一時停止して、安全を確かめてから進行する。

確かめる

歩道から交差点に出る時や、路地を横切る時は、一時停止するなどして、しっかり安全を確かめる。

見せる

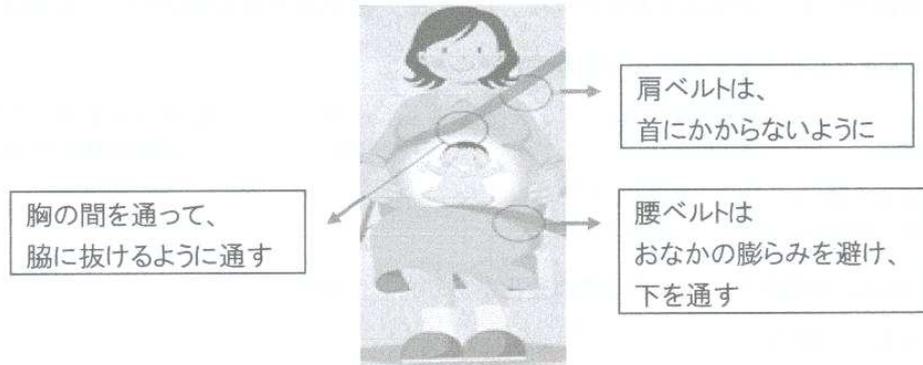
夜間、ドライバーからは、歩行者や自転車が

見えにくいので夜光反射材を付けることを習慣づけ、事故にあわないようにしましょう。



妊婦さんのシートベルトと運転

正しいシートベルト着用法が
お母さんと赤ちゃんの命を守ります。



車社会の中で、妊婦の方が交通事故にあう確率も増えています。シートベルトは窮屈に感じたり、おなかの赤ちゃんへの悪影響を心配されるかもしれませんが、正しい着用法であれば、万が一、事故が起きた時に、母体と胎児を守ってくれます。また、運転する場合、母子手帳をつねに携帯し、眠気や注意散漫に気を付け、余裕をもつように心掛けましょう。そして、長時間の運転は避けましょう。

※ シートベルトを着用することが健康保持上適当でない場合は、着用しなくても良いことになっていますので、医師に確認するようにしましょう。

酒酔い体験ゴーグルの研修、受付中です！

飲酒後に起こる、運動能力や、距離・場所の感覚が低下した時を、視覚的に体験することができるのが、酒酔い体験ゴーグルです。「視覚のゆがみ＝酔い」を体験できます。冷静な状態で疑似体験をすることで、飲酒運転の危険性を再認識し、悲惨な事故が起きないようにすることを目的としています。お気軽にお問い合わせの上、是非ご利用ください。

【内容】 ☆歩行（ジグザグコース・一本橋）

☆ボールの受け渡し など

ハンドルキーパー運動をご存知ですか？



車で仲間と飲食店などに行く場合に、お酒を飲まない人（ハンドルキーパー）を決め、その人が、仲間を自宅まで送り届ける運動です。飲酒運転を追放するため、ドライバーや飲食店に、積極的なご参加とご協力を呼び掛けています。



これからの季節

どんなことに気をつけたらよいか考えてみませんか？

安全のためには、それぞれのシーズンに対応した心掛けが必要です。

冬道は危険がいっぱい！

2月

冬は積雪などの影響により、スリップ事故が多発しています。県内でも、毎年1～2回は大雪が降ることがあります。最初から雪道を走るつもりで、スタッドレスタイヤに履き替えていたり、タイヤチェーンを持っていたり、準備万端の状態ならば良いのですが、備えていない場合は本当に困ってしまいますね。

また、積雪のない場合でも、高架橋部分や日陰、トンネルの出口などでは、雨や雪解け水が部分的に凍結し、大変危険な状態になります。

冬道でのポイントは・・・

- 道路標識や情報板に注意し、交通規制を守る。
- スリップ事故は速度の出し過ぎが最大の原因、速度は控えめに。
- 急ハンドル・急ブレーキは絶対にしない。
- 車間距離を十分にとる。
- 冬になったらタイヤチェーンを常備し、早めの装着を。



○ 慣れない雪道走行で無理をして、脱輪や追突事故に発展してしまうケースも非常に多いのです。雪道対策の準備がなされていない場合は、勇気をもって、潔く運転を中止することも大切です。

また、徒歩で外に出る場合も、荷物は最小限に止め（両手がふさがってしまうのは危険！）、滑りやすいヒールやサンダル等の靴を避け、転倒しないように十分気をつけましょう。

3月

年度末の道路工事にご注意！

年度末の3月は、道路工事の多い時期です。普段、走り慣れた道でも、車線規制が行われたりして、日によって道路状況が替わることも考えられます。

急に車線変更を迫られて、苦勞することがないように、普段通りとの思い込みを捨てて、工事の看板などをよく確認するようにしましょう。

また、工事の影響で、渋滞していることも多いです。やっとの思いで通りぬけられると思うと、安全確認もそこそこに早く通過したくなるものですが、時間や気持ちに、ゆとりをもって運転するよう心掛けましょう。

